



2024年8月13日

各位

会社名 株式会社アゴーラ ホスピタリティグループ
代表者名 代表取締役会長 ウィニー・チュウ・ウィン・クワン
(コード: 9704、東証 スタンダード)
問合せ先 財務経理部 部長 石井 伸幸
(TEL. 03-3436-1860)

第2四半期(中間)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月14日付で公表した2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)の第2四半期(中間)業績予想と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期中間連結業績と実績値との差異(2024年1月1日~2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	20	50	△30	△0.12
今回実績(B)	4,036	123	259	125	0.49
増減額(B-A)	36	103	209	155	
増減率(%)	0.9%	519%	419%	—	
(ご参考)前中間連結会計期間実績(2023年12月期)	3,396	△138	△149	△56	△0.22

2. 差異の理由

当中間連結会計期間におきましては、円安が進み訪日外国人客数は2019年の同期間と比較して6.9%増加するなどにより、売上高は前年同期を大きく上回る4,036百万円(前年同期比18.9%増)となりました。宿泊事業における売上高は3,479百万円(前年同期比19.3%増)となりました。霊園事業および住宅等不動産開発事業等を行っているその他投資事業の売上高は557百万円(前年同期比16.1%増)となりました。次に、営業利益は123百万円(前中間連結会計期間は営業損失138百万円)となりました。営業費用については、エネルギーコストの増加、人件費の増加の影響もありますが、継続的なコスト削減

に努めております。また、営業外収益として、豪州での住宅等不動産開発事業に関わる持分法による投資利益 78 百万円、為替差益 78 百万円の他、保有していた上場有価証券を売却し有価証券売却益 23 百万円等を計上いたしました。営業外費用として支払利息 49 百万円等を計上しました。それらの結果、経常利益は 259 百万円（前中間連結会計期間は経常損失 149 百万円）となりました。また、法人税等の他、非支配株主に帰属する中間純利益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は 125 百万円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失 56 百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては 2024 年 2 月 14 日に公表いたしました 2024 年 12 月期の業績予想に対し、営業費用の削減や為替差益などにより営業利益、経常利益ともに中間業績予想よりも上回っております。一方で通期業績予想につきましては、下期にかけてインフレによる人件費や各種コスト増が見込まれるほか、円安に振れた為替相場の調整による為替差益の減少などが見込まれることから、現時点では通期業績予想の修正はありません。なお、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上